

外部評価委員会結果記録書

令和 3 年 8 月 3 0 日 作成

<p>評 価 年 月 日</p>	<p>令和 3 年 8 月 1 0 日 (火)</p>
<p>評 価 の 概 要</p>	<p><b>1 令和 2 年度 の 取 組 結 果 に つ い て</b></p> <p>電力の調達方法として、再エネの導入が進んだ会社から積極的に調達するなど見直していただきたい。</p> <p>CO<sub>2</sub> 排出量削減の目標を立てるにあたり、原単位制を用いるなどの工夫が必要である。</p> <p>また、グリーン購入品は割高であり、環境への配慮と経済とのバランスを取ることが課題である。</p> <p>クール・エコ・オフィスプランの削減目標に指定管理施設を含めるにあたり、削減への意識の向上や協力を得るための工夫が必要である。</p> <p><b>2 令和 3 年度 の 取 組 に つ い て</b></p> <p>各部局が目標値を立てた後、それを具体的に達成する方法を各部局に考えてもらう方策を検討していただきたい。</p> <p>「エネルギー項目全体で見ると削減されていた」というのではなく、各部門・項目ごとに具体的な取組内容が伴う必要がある。</p> <p>コロナ禍における環境リスクの高い事務担当職員や新任職員研修の実施については、工夫して、効果的なものにする必要がある。</p> <p>環境マネジメントシステムの情報公開がホームページ上でできていないように見えるので、情報をうまく出す方法を検討する必要がある。</p>

### 3 その他

クール・エコ・オフィスプランの改定にあたっては、外部評価委員の意見を反映していただきたい。

SDGsなども含めた時代に合った新しい感覚の環境マネジメントシステムになるよう検討してもらいたい。